



## 消費生活サポーターとは… 消費生活に関する 身近なサポーターです

新潟県消費生活サポーターは、県の消費生活サポーター養成講座を修了した方、または消費生活アドバイザー等の資格を持つ方です。現在139名の方が登録されており、次のような活動を行っております。

### こんなことをしています

- ◆消費生活・金融に関する情報提供、啓発講座の講師（出前講座）
- ◆消費生活に関する簡単な苦情、相談への指導・助言
- ◆市町村の消費者啓発事業のお手伝い



市町村・団体・企業等から依頼があれば、NPO法人新潟県消費者協会が消費生活サポーターをご紹介・派遣します。平成22年度は県内の35ヶ所の講座に講師を派遣し、1329人の県民の皆さんが受講されました。また各地域での消費生活に関する情報提供、簡単な相談への対応など様々な場面で活躍しています。

消費生活  
サポーターの  
出前講座は

### こういうときにお役にたてます

- ◆自治会や老人クラブ、学校やPTA、子育てサークルなどでの勉強会や研修に
- ◆企業・団体の社員・職員研修に

寸劇・ビデオ・歌・クイズなどを使って、楽しく、わかりやすくお伝えします。



### こんなところに行ってきました 平成23年度派遣先例

十日町市川西公民館  
小千谷市公民館  
糸魚川市防犯組合連合会  
みんなの茶の間上山  
紫雲寺地区公民館  
ボランティアグループ萌美の会  
加茂生活学校  
新潟市シルバー人材センター  
柏崎市比角7区町内会  
白一西「ひだまり」サロン

花みずきの会  
新潟市緑町二丁目保健自治会  
長岡市高齢者センターふそき  
ひまわりグループ  
かがやきグループ  
小戸娯楽会  
新潟市民生委員第一地区  
第二地区協議会  
枇杷島コミュニティーセンター  
柏寿会

早通婦人会  
聖籠町消費生活センター啓発講座  
山丈夫老人クラブ  
杉谷内老人クラブ  
運野老人クラブ  
老連寺泊支部親和会・福寿会  
老連寺泊支部寿クラブ  
老連寺泊支部三和長寿会・寿楽会

## 消費生活サポーターが 伺います!!



架空請求

### 出前講座 Q&A



講座の内容は？  
時間や時間帯は？  
人数は？

- 悪質商法の手口や、その対処法や、消費生活の基本的知識、被害にあわないための心構えなどです。
- 時間は1時間から1時間半程度（調整可能）時間帯も午前～夜間まで可能です。
- 10名程度集まれば大丈夫、団体の研修等もOKです。



どこにでも？  
土日or祝祭日は？  
お金は？

- 県内であれば、どこにでも出前します。
- 土日、祝祭日もOKです。
- 出前講座は無料です（企業内研修等は別途ご相談ください）会場費は主催者側でご負担ください。



点検商法



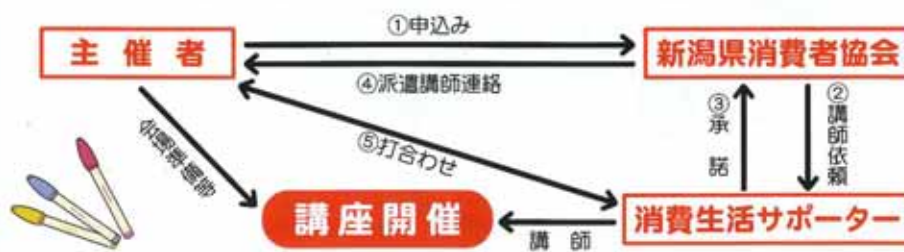
SF(催眠)商法



申し込みは？  
講座に必要なものは？

- 講座の予定が決まりましたらできるだけ早めにお申込みください（原則として遅くとも1ヶ月前まで。それ以降でも対応できる場合もありますので、ご相談ください）。
- ビデオ、DVDを上映する場合はその機材が必要になります。また会場が広い場合はマイクをご用意ください。

### 出前講座講師派遣の流れ



県民の安全・安心な生活のために



新潟県知事 泉田 裕彦

消費生活サポーターの皆さんには、県内各地の自治会などの集会や研修会、講座などの機会を通じて、消費生活に関する知識の普及・啓発にご協力いただき、ありがとうございます。

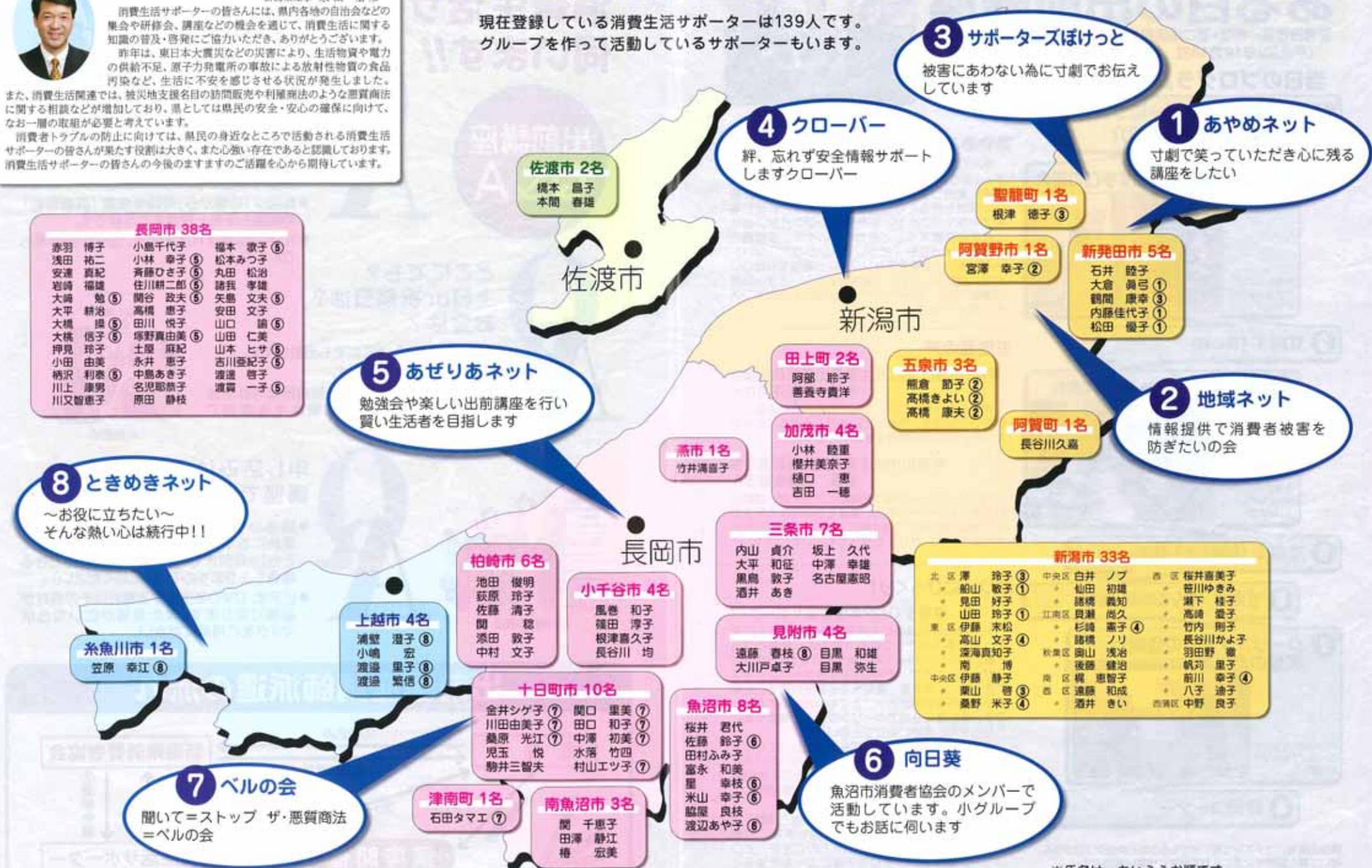
昨年は、東日本大震災などの災害により、生活物資や電力の供給不足、原子力発電所の事故による放射性物質の食品汚染など、生活に不安を感じさせる状況が発生しました。

また、消費生活関連では、被災地支援名目の訪問販売や利権商法のような悪質商法に関する相談などが増加しており、県としては県民の安全・安心の確保に向けて、なお一層の取組が必要と考えています。

消費者トラブルの防止に向けては、県民の身近なところで活動される消費生活サポーターの皆さんが果たす役割は大きく、また心強い存在であると認識しております。消費生活サポーターの皆さんの今後のますますのご活躍を心から期待しています。

# あなたの街の消費生活サポーター

現在登録している消費生活サポーターは139人です。  
グループを作って活動しているサポーターもいます。



**1 あやめネット**  
寸劇で笑っていただき心に残る講座をしたい

**3 サポーターズぼけっ**  
被害にあわない為に寸劇でお伝えしています

**4 クローバー**  
絆、忘れず安全情報サポートしますクローバー

**2 地域ネット**  
情報提供で消費者被害を防ぎたいの会

**5 あぜりあネット**  
勉強会や楽しい出前講座を行い賢い生活者を目指します

**8 ときめきネット**  
～お役に立ちたい～  
そんな熱い心は続行中!!

**6 向日葵**  
魚沼市消費者協会のメンバーで活動しています。小グループでもお話しに伺います

**7 ベルの会**  
聞いて=ストップ ザ・悪質商法 =ベルの会

※氏名は、あいうえお順です。  
※氏名の後の①～⑧は所属しているグループです。

編集委員がお邪魔しました

# ある日の出前講座

新発田市第一地区・第二地区民生委員児童委員協議会合同研修会  
(平成23年12月14日 加治川総合福祉センター さくら苑)

当日のプログラム～いろいろな工夫がいっぱい～



講師は「あやめネット」

## ① 消費生活サポーターについての説明と配布資料の紹介

## ② 個人情報を聞き出す手口の紹介



手作りの電話の  
小道具がわかり  
やすい

## ③ 寸劇①(買い物)

## ④ クイズコーナー(契約って何?)



会場では参加者の  
中にどんどん入っ  
ていきます

## ⑤ 寸劇②(悪質ふとん販売)

## ⑥ 寸劇③(りんごの押し売り)

## ⑦ クーリングオフの説明と 実際のやり方



カレンダーを使って  
クーリング可能な日  
を確認

## ⑧ 質問コーナー

講座出席者にクイズや寸劇に出てもらうなど参加型プログラム。短い寸劇と説明を交互に入れて飽きさせない演出です。進行状況を見てその場でプログラムの調整も行って、講座時間ぴったりで終了。さすが!

## あやめネットの声 代表 大倉貢弓さん

平成17年から活動を続けている消費生活サポーター5名のグループです。今までに30回以上の啓発講座を実施しました。消費者問題について、常に新しい情報を得るために勉強会に出たり、新聞記事をスクラップしたり、新発田市の他の分野の団体とも情報交換するなど努力しています。悪質商法の被害にあっても「どうしていいかわからない」そんな時「(消費生活センターに)相談すればいいんだ」と安心してもらう案内役として、上から目線の講座でなく、近所のおばちゃんの話というスタンスを心がけています。

## 主催者の声

新発田市第二地区民生委員児童委員協議会  
会長 猿子洋司さん

すごく良かったです。なんでも相談窓口を通じていろいろな団体と関わっているので今後も「あやめネット」さんの出前講座を検討します。

新発田市民生委員児童委員連合会  
会長 佐藤忠雄さん

今までいろいろな講座をお願いしてきたが、講師の話聞くだけの一方通行の講座で今回のような参加型の講座は初めてで参加者にもすごく喜んでもらえたようです。ぜひまたやってもらいたいです。

## パワーにびっくり!

梶 恵智子 (H22年度登録サポーター)

12/14の啓発講座にお邪魔しました。りんごを使って粗悪品を売りつける寸劇では、会場内から「家にも来た」「近所で同じ話を聞いた」などの声が上がったところで、3千円以上ならクーリングオフできること、領収書・連絡先を必ず受け取ること等きめ細やかな説明があり、とてもわかりやすかったです。参加者に会場でクーリングオフの書面を書いてもらうのも実際に役立つと思います。

参加者からは、肩肘はらず身近な話し方でとても良かった。歳末にかけ、資料としてももらった「ストップ・ザ悪質商法」パンフレットと今日のお話をもって、受け持ちエリアの皆さんに注意喚起していきたいとのこと。

代表は「私たちがやること」は「消費者と消費生活センターを繋ぐ架け橋」と熱く語ります。寸劇パターンも各種取り揃えているとのこと、そのパワーに驚かされ、更なる活躍にエールを送るとともに私も「がんばらなきゃ…」との思いを胸に帰途につきました。

# デビューしました。

～消費生活サポーター新グループ紹介～

あぜりあネット ～広い長岡市を豊富な人材でカバーします～

## ① 設立経過

サポーターとなった後も学び合い・語り合うために、そして多くの人々と暮らしに役立つ情報交換をするために、県消費者協会の後押しを受け、5ヶ月間の準備期間を経て7月に「あぜりあネット」を設立しました。メンバーは長岡市在住の15名です。長岡市の花「アゼリア」にちなんで名前を付けました。



## ② 設立後の活動

### ① 毎月の例会と勉強会

その時々話題で気楽なおしゃべりをするほか、テーマを決めて講師をお誘いして勉強しています。

### ② 消費生活サポーター養成講座実施への現地サポート

昨年9月から12月にながおか市民センターで10回にわたって開催された消費生活サポーター養成講座では、毎回2、3人のメンバーが交代で詰め、会場設営、資料や機材の準備、受付などを担当し、運営をサポートしました。先輩サポーターとして、実践編の講座の中で、模擬講座も見てもらいました。

### ③ 出前講座

振り込め詐欺や悪質商法について、寸劇・ビデオ・手品・替え歌を交えた講座を行っています。親しみやすい講座を心がけ、参加者との交流も図っています。

(代表 住川 耕二郎)

## サポーターズぼけっと ～地域包括支援センター・消費生活センターとのコラボ企画で活躍中!～

「サポーターズぼけっと」は、平成22年度消費生活サポーター養成講座修了者4名で結成されたグループです。現在聖籠町で、老人クラブの集まりを利用して開催されている「認知症」をテーマにした講座で、聖籠町地域包括支援センター、聖籠町消費生活センターと一緒に啓発に取り組んでいます。

この講座では、「サポーターズぼけっと」の寸劇で認知症高齢者を標的にした次々販売の手口を具体的に紹介し、消費生活センターの相談員が被害事例や防止の方法の紹介、相談窓口の案内などを行い、地域包括支援センターの担当者が「認知症」についての説明を行っています。既に7回の講座を実施していますが「サポーターズぼけっと」の寸劇はわかりやすく好評だそうです。



## 「サポーターズぼけっと」の声 代表 鶴間康幸さん

「サポーターズぼけっと」のモットーは「わかりやすさ」。メインテーマの「認知症」の話自体は難しいですが、寸劇で消費生活の面からアプローチすると、聞いている方が話にずっと入っていきそうです。寸劇は、「電話がつながらないんだけど…」という題名で、公共料金の引き落としができなくなったことをきっかけに認知症になりかけたお父さんがふとんの次々販売など悪質商法の被害にあっていることが判明するという内容で、毎回主催者や参加者を考えて、手直し・工夫を重ねています。

## 編集後記

昨年度も悪質商法が蔓延し、被害金額も莫大。被害防止のための「サポーターだより」の充実が望まれます。編集に携わって各地のサポーター集団の大活躍に心強さを感じました。(遠藤和成)

多くの人に読んでいただくにはと編集に参加して考えてしまいました。発行回数を重ねながらより良い「たより」になりますよう次の方々に繋ぎます。(梶恵智子)

平穩に日常生活を暮らしあまり気に留めない事が多かった今日、テレビ・新聞を眺めている様々な事がびこり養成講座に参加して多くの講義を聞かせていただき勉強の積み重ねでした。これからも続けたいと思います。(酒井きい)

新グループの一員となったことが今年の編集委員になったのでしょうか。本誌がサポーターの活動の場を広げるツールとしてお役に立てれば願っています。(住川耕二郎)

一昨年の研修後、自分にも身に覚えのある失敗談があり冷汗や汗ものでした。二度と繰り返さぬための勉強と情報発信のお役に立てれば願っています。(八子通子)